实验课感想

立命馆大学 丸山纱代

日语里，随时代的不同，同一个词也衍生了不同的意思。比如说日语的‘全然’。这是‘一点儿也’的意思。一般这个单词用否定的意思。比如‘全然できない’(这是一点儿也不能的意思)‘全然ない’（这是一点儿也没有的意思）。可是现代的‘全然’有肯定和否定的2个意思。特别年轻人常常用肯定的意思的‘全然’。比如‘全然大丈夫’，这是没有问题的意思。

日本的明治时代，跟现代一样‘全然’有肯定和否定的2个意思。有名的作家芥川龙之介也用肯定的‘全然’上“罗生门”。可是日本的昭和时代前期‘全然’只有否定的意思。一定跟‘ない’一起用了。现代再年轻人用肯定和否定的‘全然’。

这样随着时代用语言的人变化的话，单词的意思也越来越变化。我觉得意思的变化是语言的发展也有衰落。

日本語には時代によって意味が異なる言葉がいくつか存在する。例として上げたいのが「全然」という単語である。これは現在否定の意味で主に使われる言葉である。例えば、「全然できない」「全然ない」といった形である。しかし、最近の若者は肯定の意味でも使用する。「全然大丈夫」といった形である。

明治時代には肯定の意味でも否定の意味でも使用されている。日本の有名な作家芥川竜之介が書いた羅生門にも肯定の意味が使われる。しかし、昭和前期になり、「全然」は否定的な意味でしか使われなくなった。「全然」という単語は必ず「～ない」という言葉とセットで使われるようになった。しかし、現代再び若者の間では肯定的な意味として用いられている。

このように時代とともに言葉を使う人が変われば、少しずつ意味も変化することがわかる。こうして言葉は発展し、ある意味で衰退しているとも言えるのではないだろうか。